



# つむぐ

No. 28

令和4年 4月22日発行 袋井市幼児教育センター

## 自分で着替えたり、片づけたりします。

片付けや着替えは、大人の人と一緒に楽しみながら行うことで、やり方を覚えていきます。一緒に行うとき、認めてもらったり励ましてもらったりすることで、自分でしようとする気持ちが育ちます。これは自立に向かう大切な第一歩です。



先生と一緒に

まだ、服や靴がうまく履けないけれど、少し手伝ったり、ほめてもらったりすると履けるまでがんばることができます。乳幼児期は個人差が大きく、繰り返し大人と一緒にすることで、徐々に自分で行おうとする気持ちが育ちます。



一人で履きます

袋井の幼児教育で  
育成する力

生活習慣	自分のことは自分でできる	(1)自立心
		(3)健康な心と体
		(4)社会生活との関わり
学びに向かう力	みんなと頑張れる	(5)自然との関わり・生命尊重
		(6)言葉による伝え合い
		(7)協同性
基礎となる力の	考える・やってみる	(8)思考力の芽生え
		(9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
		(10)豊かな感性と表現

### ☆小学校生活では

幼児期に生活に必要な基本的なことが身につくと、机の中が整頓されるようになり、次の授業の準備を自分でしようと積極的に取り組む姿になっていきます。

幼児期は、人格形成の基礎をはぐくむ大事な時期です。幼児教育センターは、子どもたちが健やかに成長していくために保護者や地域の皆さんとともに未来あるお子さんの成長を支援してまいります。また、幼児教育センターだより「つむぐ」を通して、子育ての参考となる情報を発信してまいりますので、ぜひご覧ください。また、今年度から、幼児期の教育が小学校へなめらかにつながるよう、幼保小の架け橋コーディネーターとともに幼児期から児童期への接続にも力を入れてまいります。

令和4年度  
袋井市幼児教育センター  
アドバイザー；深田  
中野  
架け橋コーディネーター；金原  
松下

本市では、「袋井市就学前教育・幼小接続カリキュラム」に基づき、10の力を育成する教育を行っています。幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。

